



鳥羽湾にある三ツ島前の岩礁に「一葉観音」という観音像が建っています。

この観音像は、昭和13年に愛知県常滑市の窯元が、陶彫作家の柴山清風（1901～1969年）に製作を依頼し、鳥羽湾の海上安全を祈願して当時の鳥羽観光協会に寄付して建てられたものであることが、記録などから判明しました。

観音像は80年以上、厳しい荒波に耐え、今も鳥羽湾を航海する船を見守り続けています。

一葉観音をご存じですか？



5月6日、市民や連休で帰省した家族連れなどでにぎわう市民の森で、市の子育て応援キャラクターの「ジュジュ」が散歩しました。

ジュジュは、市内外の多くの子どもたちと一緒に歩いたり、記念撮影などを行いました。また、ジュジュのオリジナルグッズなどを配布し、市の子育て支援施策をピーアールしました。

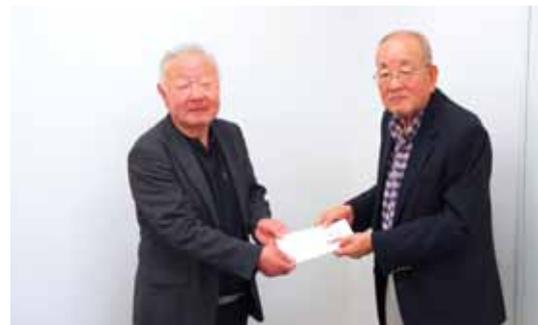
ジュジュがお散歩



5月18日に保健福祉センターひだまりで鳥羽市民生委員児童委員協議会の総会が開催され、活動報告や今後の方針などが話し合われました。その後、鳥羽警察署の梶家生活安全課長から高齢者を特殊詐欺から守る方法について学びました。

民生委員児童委員は、高齢者や障がい者、子どもたちが地域で安心してくらするよう相談にのったり、行政機関との橋渡しをするなどの役割を担っています。

地域のみなさんを見守っています



鳥羽市リサイクルパークを運営するNPO法人とばりサイクルネットワーク（山西元理事長）は4月24日、施設内でのリサイクル品販売やフリーマーケットなどによる売上げ11万5,230円を市社会福祉協議会へ寄付しました。

同ネットワークからの寄付は平成20年以降毎年続けられており、寄付総額は80万円に達しています。

市社会福祉協議会の森下幸穂会長は、「寄付金は福祉基金へ積み立て、福祉事業の充実に役立てさせていただきます」と述べ、感謝の気持ちを伝えました。

社会福祉へ役立てたい